

4. 「対話、交流、連携」で、魅力があり、しなやかな唐津のまちと経済をつくろう。(案)

～「夢(vision)、情熱(passion)、行動力(action)」が途を拓く～

これまで掲げてきた地域経済の活性化やまちづくりの課題を解決していくためにはそれぞれの分野におけるプレイヤーの主体的力量を高めるとともにことがぜひとも必要です。

唐津地域の企業はほとんどが中小企業・小規模企業です。こうした規模の企業が競争激化の中で生き延びていくためには、「はじめに」で述べたように「対話、交流、連携」が必要です。前計画ではこれを唐津商工会議所の活動の基本姿勢としましたが、会員企業においても参考にいただければ幸いです。

「はじめに」において、唐津の先人に学び、「夢、情熱、行動力」掲げました。加えて、最近の元気のある企業の経営者の発言や行動を見ていっても、「夢(vision)、情熱(passion)、行動力(actin)」が読み取れます。「夢しか、実現しない。」はツタヤなどを運営するCCC(株)のコンセプトメッセージです。夢・ビジョンに確信が持てれば情熱が湧き、情熱が強ければ行動につながります。「夢、情熱、行動力」を実現への原動力として提案します。

(1) 国県市等に対する政策提言を積極的に行おう。

唐津の地域経済やまちづくりは様々な課題を抱えています。これらの課題に対応するためには、民間だけの努力だけでは解決することは出来ません。「対話」を通じて得た民間の意見を集約して、それを政策提言として国県市等に積極的に提案していきたいと思えます。幸い、商工会議所はネットワークを有しており、全国的課題、九州地域の課題、佐賀県レベルの課題、唐津市レベルの課題に対してそれぞれ対応していくことが出来ます。「唐津市中小企業・小規模企業振興条例」も唐津商工会議所の政策提言活動が制定のきっかけとなっています。

コロナという危機の中でこの条例に規定された「中小企業・小規模企業振興会議」等の場でも迅速な提案を行っていきます。



(2) 情報発信を強化し、確実に市民・消費者に届くようにしよう。

ビジネスであるか否かを問わず消費者・市民等に主体の意図を確実に届けることは極めて重要です。いままで、ポスターやチラシを作ることまではエネルギーをかけるがそれをどうやって消費者や市民に確実に届けるかという点においては手薄であったと言えます。良い商品、良いイベントであっても売り上げが伸びない、参加者が少ないということは多くの人を経験したことと思われれます。

近年、このような状況の反省とともに最新の情報伝達技術を利用して、消費者や市民の心を掴む方法が発展しています。こうした手法を学ぶ機会を作っていきます。

唐津商工会議所も市民の認知度は高いとは言えません。様々な機会と媒体を活用して商工会議所のプレゼンスを高めるようにします。

宮島会頭から峰市長への要望書の提出 2017. 11. 9

(3) デザインとストーリーを重視した組織運営をしよう

経営や商品にデザインとストーリーが求められているということは長らく指摘されてきました。2018年5月に経済産業省、特許庁は「デザイン経営」宣言を出しました。ここでいう「デザイン」とは、造形の美だけを指すのではなく、企業が大切にしている価値、それを実現しようとする意志、ストーリーを表現する営みや考え方自体を指しています。大量生産・消費時代を経て、機能品質の均一化が進んでいるからこそ、そうした中で収益向上を図るためには、機能・品質以外の価値を創造・賦課することが重要です。

佐賀県のデザインに対する取り組みは学ぶべきものが多いです。県営波戸岬キャンプ場は2018年にリニューアルオープンしましたが県内外のアウトドア愛好家にとってとても人気の高いスポットになっています。以前はほとんど見向きもされなかったところですが、デザインも一新されましたが、加えて各種プログラム（ストーリー）など付加価値を与えるようになっていきます。身近にデザイン経営のお手本があります。



波戸岬キャンプ場

(4) with コロナで身に付けた WEB 会議、リモートワーク等のノウハウを大いに活用しよう。

with コロナで多くの会議が中止になり代わりに WEB 会議が開催されました。会社に出勤せずにリモートワークを多くの方が経験しました。「WEB 会議ではニュアンスが伝わらない」、「家では子どもが邪魔して仕事にならない」などの意見もありましたがおおむね支障なく代替できたというのが実態です。旅費や事務所経費の節減につながったり、長時間通勤がなくなったという利点も指摘されています。「三菱ケミカルは2021年4月に都内3か所のオフィスを1か所に集約する。新型コロナウイルスで在宅勤務が増え、出勤率が2~3割に低下。柔軟な働き方を定着させ、賃料などのコストを節減する。」と報道されています。

after コロナになってももどに戻ることはありません。企業や地域にあった方法で WEB 会議やリモートワークを活用していきましょう。

(5) 唐津商工会議所の力量を高めよう。

商工会議所は「地域の商工業の総合的な改善・発展を図ること」（商工会議所法）を目的として設立されています。この目的を達成するためには唐津商工会議所の力量を質量ともに高める必要があります。

(ア) 会員満足度のいっそうの充実を進めます。

中小企業の経営相談という商工会議所の中核の仕事に加え、経営支援制度等の情報伝達手段としての会報「虹」やメールマガジンの

唐津商工会館

充実、様々な勉強会、交流会等の開催を通じて、会員満足度を高めていきます。

(イ) 多くの事業者协会会员になっていただく。

唐津市中小企業・小規模企業振興条例は中小企業等の努力として「中小企業等は…商工会議所又

は商工会への積極的な加入に努める・・・」(第6条)とあります。これは、同条に規定されているように「自らの経営能力の向上並びに中小企業者等相互の交流及び連携を図るため」です。中小企業支援機関と位置付けられている商工会議所は条例規定されている役割を十分果たしながら会員拡大に努めていきます。

会員数が多ければ多いほど行政にとっては政策需要の正確な把握にも役立ちます。民間事業者にとってはより大きな声として行政に届くこととなります。

(ウ)財政基盤を強化しよう。

唐津商工会議所は収益事業として各種共済制度や日本商工会議所の各種検定事業の手数料を主とする収益事業や貸会議室・貸事務所等の商工会館の運営などを行っています。これらの事業は従業員の福利厚生等に貢献するものですが、他方、商工会議所の財政基盤の強化にも貢献します。財政基盤が強化されればより多彩な活動で会員に還元できます。

(エ)商工会議所青年部、女性会の活動をいっそう活発にしよう。

唐津商工会議所青年部および女性会は長い歴史を有する組織です。「中小企業・小規模企業振興会議」にも両団体から代表が1名ずつ参加しています。コロナ禍で多くの事業者が苦境に陥っているなか、この会議での議論が、両団体のそれぞれの感性や行動力を活かした商工振興の取り組みがよりいっそう活発になるきっかけとなればと思います。

(オ)観光協会等の経済団体、まちづくり団体との連携を強めよう。

唐津の地域経済やまちづくりは多くの課題を抱えています。唐津商工会議所だけでは到底対応できるものではありません。経済団体とは「唐津経済協議会」をつくっておりその活動を活性化することが必要です。

いっぽうまちづくりや文化の分野においては実に多くのグループが活動を行われています。必要に応じて連携することにより大きな仕事を成し遂げていくことが出来ると考えられます。

2020年から始まった「唐津観光デザイン会議」は、商工会議所、観光協会、まちづくり会社をはじめ幅広い観光関係者が集まるプラットフォームの役割が求められます。ぜひ成功事例となるように努力していきます。

(おわりに)

地域経済にコロナというアゲインストの風が吹いています。かなりの強風です。先行きも不透明です。

国県市はこうした状況に対応すべく様々な施策を打ち出しています。唐津商工会議所はあらためて今回の危機を脱するために全力を尽くすことを誓います。

唐津の各事業所においても危機の中で様々な矛盾や対立を乗り越えていかなければならないことに直面すると思われれます。

危機の中でも明るい動きもたくさんあります。

唐津のまちと企業人は危機を乗り越える力量を十分に持っていると確信しています。

二人の言葉を紹介して計画を締めます。

LVMH(モエヘネシー・ルイヴィトン)は高級ブランド企業の集合体です。マルク・アントワース ジ

ジャメさんは LVMH の事務総長です。パリの LVMH 本社における九州経済連合会の欧州視察団（2019年）を迎えての講演でのジャメさんの言葉。「どんな分野においても内部の対立物間の拮抗と統一が新たな進歩を生む。LVMH の経営ではそれを意識している。」

もう一人は、第2次世界大戦でヒトラーから世界を救ったと言われる英国宰相ウインストン・チャーチルの言葉。「風が一番高く上がるのは、風に向かっていているときである。風に流されているときではない。」